

どう使う 今年の予算

予算審査特別委員会 質問・意見（抜粋）

町長は教育にお金をかけていると言っているが、教育費全体が減っている。中学校の補修が終わったことと、緊急経済対策の前倒しで事業実施した分、去年より減額となっている。マンパワーの予算は去年と変わらず要求してきた。予算に限りがある中、修繕費等を減額した。

防犯灯にLEDを使うとのことだが？

区からの要望で新設分のみ。屋外用が開発され金額も下がったので、これからはLEDにしていく。

予算編成時、今年のような大雪分の予算は計上していないのか？

予算編成は12月なので、例年度並みとしている。

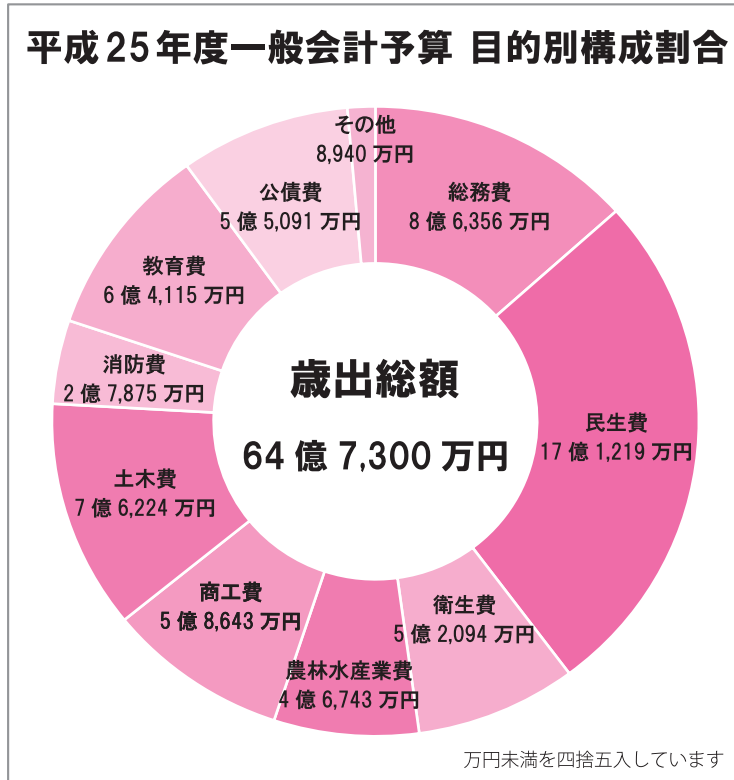
業者への委託料はいくらか？

除雪2.5回分で848万円をみている。出動1回につき200万円のほか、機械の維持費も必要。

北杜市から松がかなり搬入されているが、松くい虫の心配はないか？

木材をチップ化することにより防除になるので、問題はない。

平成25年度一般会計予算 目的別構成割合



広報が町長のPRになっていないか？

誌面決定の最終判断は町長が行う。意見は町長に伝える。

病児病後児保育事業の当初予算が少ないのではないか？

国の基準額が60名まで290万円、200名まで490万円、60名でスタートし、超えることがわかった時点で増額する。

子宮頸がん予防ワクチンの副反応の問題について、町の対策は？

予防接種法に基づく実施のため、自治体として接種しないということはない。いろいろな情報があるが、町としては厚労省の指示に従うしかない。

入笠山のマイカー規制は、地元の人に評判が悪い。

自然を守るためには必要。道が狭いので、安全確保のためにも実施している。

紙類のリサイクル売却費が例年の半額まで落ちているが、リサイクルセンターができた場合の影響は？

紙類の需要が減り価格が下がったことが原因。市場価格で売却することになると思うが、動向は未定。

予防接種の町民負担分は？

1種に該当するものは町が全額負担。高齢者のインフルエンザは1,000円負担だが、非課税世帯は免除なので、高齢者にすればほとんど無料になる。

■平成25年度一般会計予算
 予算総額は64億7300万円（前年度比3億1200万円減）。歳入については、町税が納税義務者の減少及び景気後退から個人町民税190万円減、法人町民税140万円減、土地価格下落により固定資産税2732万円減、地方交付税は3500万円増。国庫支出金は、事業の終了等により6216万円減となります。地方債は総額4億2110万円です。

●反対（名取武二）
 子ども課所管は前年比で4000万円の減額。町長は教育にも力を入れているというが、この予算案は教育費を削減している。教育の町にふさわしい予算とするべき。

○賛成（宮下伸悟）
 パノラマについて反対意見も多いが、今支援を打ち切ることは経営の悪化を招き自立へ向けた道筋を遠ざけることになる。しかし、教育費が削減されているので、消極的賛成とする。

●反対（佐久祐司）
 町の財政は厳しく、教育に関する予算も大きく削減されている。基礎自治体としてやらなければいけない一般事務は多く、この状況下でパノラマに多額の資金を使うことは反対。

●反対（平出隼仁）
 昨年行った一般質問の約束を履行していない（パノラマスキー場の固定資産税減免の説明が不明瞭）。

介護施設の使用料を予算案の段階で減額することは、競争のない非公募指定管理の中では適切。半官半民という立場から、経費の節減に努める意識が薄れることを危惧する。

〈賛成多数で可決〉